

interview

毎号リレー形式で江田島市内で活躍する人やお店を紹介！

働く場所でも、遊ぶ場所でもない。
みんなが集まって「ほっ」と出来る、
そんな場所にしたい。



(NORA・早稲田 圭)

ETAJIMA **GoON!** Vol.1

What is NORA?
「NORA」ってこんなところ



Vol.1
能美町・中町
NORA

みんなが「ほっ」と出来る場所を目指して。

生まれ育ったまちにUターン。地元の人たちとのかかわりを求めて

能美町中町港から歩いて約5分。窓からのぞく“金色のゴリラ”が目印の大きな家が『NORA』だ。満面の笑みで案内してくれたのは、オーナーの早稲田圭さん。生まれ育った江田島市に横浜からUターンして2年。Uターンのきっかけは、こどもが生まれ、将来を考えた時に江田島市で子育てがしたいと思ったからだそう。圭さんは、本職である設計業で補いながら、宿泊業と飲食業を運営し、奥さんの慶乃さんは、女将業だけでなく、ヨガやSUPのインストラクターとしても活躍。島暮らしを満喫している。1日1組限定の民宿『体験民宿NORA』を2020年に立ち上げ、『喫茶のら』は今年開店したばかりだ。民宿は元々観光客向けに始めたものだったが、宿泊客の中には江田島市で新しく何かを始めたいと話す人や、地域の方々と交流したいという人も多くいた。「お客様の話を聞いて、もっと地元の人たちとのかかわりを増やすために、民宿だけではなく喫茶店も始めようと思いました。たくさんの方が繋がる場所になればいいなと。あと、僕は地元出身なので、観光客だけでなく、江田島市に住む皆さんや、江田島市へ仕事で来ている皆さんに温かいごはんや美味しいコーヒーを楽しんでほしいと思ったんです」

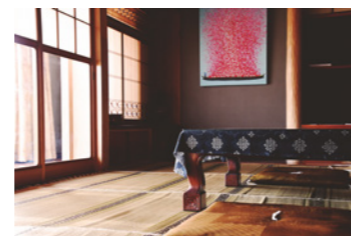


「母の味」で人気の日替わり定食から、喫茶店ならではのコーヒーやクリームソーダまで楽しめる、喫茶のらのメニュー。

「面白くない」は「面白くすることができる」

圭さんの故郷への想いと前向きな行動は、コロナ禍の中でも多くの人を惹きつける。近所に住むおばあちゃんやおじいちゃん、お昼休憩に駆け込むように店に入って来る働く人たち、江田島市に興味を持ち情報交換を求めて訪れる市外の人たち——。「僕はこの場所を、相談窓口まで固くはないけど、誰でも気軽に話をしに来れる場所にしたいんです。もちろん、人を呼び込むだけではなく、そのあとをどうフォローしていくか。訪れる人みんなが“ほっ”とできる存在になれば」

江田島市から一度出たからこそ、江田島市の魅力を感じた。地元の知人や友人たちが言っていた「江田島は面白くない」という言葉を聞いて「じゃあ、これから面白い場所にしていこう」と決心した圭さん。地元のことだけでなく、外に出たからこそわかる経験や視点を活かして、自分の役割を見出し、自分たちだからできることを楽しみながら実行していくその姿には、周りの人も感嘆するほどだ。「島を楽しみながら働きまくる旦那と、島を楽しみながら遊びまくる妻。それでいいんじゃないですかね(笑)」地元を愛する圭さんと、いつでも元気いっぴいの奥さんは、今日を楽しみながら、前へ進んでいる。



おばあちゃん家に帰ってきたかのような懐かしい宿泊スペース。



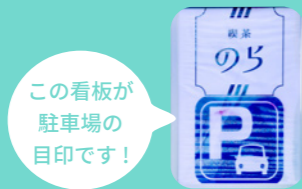
女将は“Lily(リリー)”としてヨガ・SUPインストラクターとしても大活躍！

ACCESS

中町港から三高方面へ海沿いの道をまっすぐ徒歩約5分。小さな橋を渡ったら、左手にある大きな家がNORAです。

【車でお越しの方】
三高方面に進む途中で赤い自販機が見えたらすぐ左に曲がると、駐車場があります。

お問い合わせ：070-4030-0684



「美味し〜」と共に

少し休憩したい時、
誰かとお話したい時、



「NORAのファミリードル」ちゃん(3歳)もお待ちしています！